

中京区 P 邸 事業用 2022 年竣工

外観の改修

(前)



(後)



改修後トオリニワ



改修後 2 階小屋組み



伏見の町家より移設されたオクドさん



水回り棟

(前)



(後)



改修後 2 階厨子



商店街に位置する幕末ごろに建てられた中京の町家で、長らく看板建築となっていた。延べ石基礎の新設、柱脚の根継ぎ、建物の傾きや沈下の補正、切られていた通し柱の復旧や母屋(もや)の継手下の束(つか)新設等の構造改修を行った。ミセノマにオクドさんを移設し、虫籠窓や出格子のあるオリジナルの外観に復元した。

改変されている建物の柱や桁等の痕跡をたどり復元すること、近隣の同時期に普請された町家を手本に各部材の寸法や修まり等を調整することで、できる限り築造時の姿に近づけ、通りや地域に違和感のない姿を目指した。

東山区 A 邸 事業用 2024 年竣工

外観の改修

(前)



(後)



倉庫部分改修

(前)



(後)



川沿いの倉庫は梁までシロアリの被害が上がっていたが、台持ち継ぎという伝統構法で梁を継ぎ替えた。



借家の内部の工事の様子。基礎部分の延べ石や柱を入れ替え、土壁も竹小舞から編みなおして修復している。

白川沿いに位置した明治後期築造の三棟の建物群。疎水を引き込んだ水車小屋と共に精米所や所有者の居宅として利用されていた。空き家となった建物群を新たな借家人に引き継ぐため、躯体および外装の維持更新を行った。建物の構法的価値を尊重しながら時代に合わせた用途に適合させ、所有者と利用者双方の協働で維持保全された。